

## 7. アカウント

## 7. アカウント

### 1. ユーザー管理

ユーザーアカウントを編集、削除します。

#### ■ ユーザーの検索

ユーザーアカウントを検索します。



「ユーザー検索」に検索キーワードを入力します。

一度に表示する検索結果の最大件数を変更する場合は「表示件数」の値を変更します。

「検索」ボタンをクリックして検索を実行します。又、ユーザー名の頭文字で検索する場合は「ユーザーの頭文字」から選択します。全てのユーザーを表示させる場合は「全て表示」をクリックします。

#### ■ ログイン/メール/FTP の許可状況

ユーザーのログイン/メール/FTP の許可状況が表示されます。なお、バーチャルドメインとしてメール/FTP が許可されていない場合、メール/FTP の許可状況そのものが表示されません。



ログイン/メール/FTP の許可状況を変更する場合は、「編集」ボタンをクリックして該当項目を変更します。詳細は後述のユーザー設定変更を参照ください。

## ■ ユーザー設定の編集

アカウントを編集する場合は、「編集」ボタンをクリックします。

アカウント編集画面が表示され、以下の項目について設定ができます。

### ● ユーザー設定変更

ユーザーアカウントの基本的な設定を行います。

パスワードを変更する場合は、「パスワードを変更する」を選択し、「パスワード」にパスワードを入力します。

必要に応じて「追加情報(本名など)」を入力します。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。

なければ「OK」ボタンをクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

### ● メール転送設定

配送されたメールを、他のメールアドレスへ転送するための設定を行います。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合、この設定画面は表示されません。

転送先となるアドレスを「メールの転送先」に入力します。

複数のメールアドレスを指定する場合は、半角スペースか、カンマで区切るか、1つずつ改行して入力することで登録できます。

転送するメールを、サーバーに保存しておきたい場合は、「メールの転送を行う場合に、このサーバーのメールプールにも電子メールを残す」を選択します。

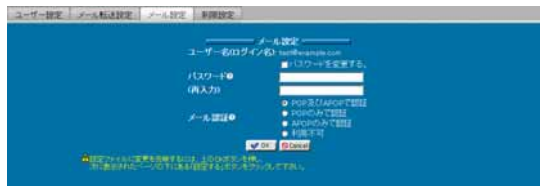
この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。

なければ「OK」ボタンをクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

### ● メール設定

メールパスワードなどメールの基本的な設定を行います。

## 7. アカウント



なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合、この設定画面は表示されません。

パスワードを変更する場合は、「パスワードを変更する」を選択し、「パスワード」にパスワードを入力します。

メールを利用不可に変更する場合は、メールで「利用不可」を選択します。

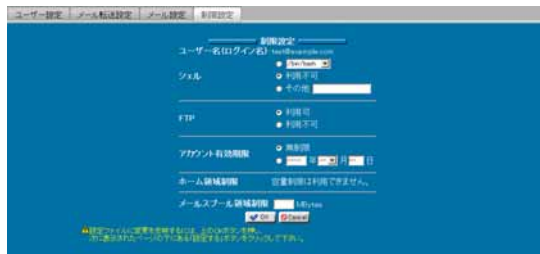
メールの認証を APOP だけに限定してメールを利用可能にする場合は、メールで「APOP のみで認証」を、POP でも APOP でもメールを利用可能にする場合は、「POP 及び APOP で認証」を選択します。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。

なければ「OK」ボタンをクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

### ● 制限設定

シェルや FTP の利用、アカウントの有効期限、ホーム領域やメールスプール領域の制限設定を行います。



シェルの利用を許可する場合は、シェルのメニューから利用するシェルを選択するか、「その他」を選択してシェルをフルパスで入力します。

シェルの利用を許可しない場合は、シェルで「利用不可」を選択します。

FTP の利用を許可する場合は FTP で「利用可」を、許可しない場合は「利用不可」を選択します。

なお、ドメインで提供するサービスとして FTP サーバーが選択されていない場合は設定できません(FTP は利用できません)。

アカウント有効期限を設定する場合は有効期限を年月日で指定し、設定しない場合は「無期限」を選択します。

ホーム領域制限を設定する場合は、「警告容量」と「最大容量」に制限値を入力します。なお、ディスク使用容量制限が有効でない場合は設定できません。

ホーム領域制限を設定しない場合は、「警告容量」と「最大容量」の制限値を空にします。



ドメインに最大ディスク容量の制限が設定されている場合、この制限を越えることはできません。

メールスプール領域制限を設定する場合は、制限値を入力します。

メールスプール領域制限を設定しない場合は、制限値を空にします。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。



ドメインにメールスプール容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

この他に変更する項目があれば、他のタブをクリックします。

なければ「OK」ボタンをクリックして、ユーザー一覧画面に戻り「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## ■ ユーザーの削除

既存のユーザーを削除します。

ユーザー一覧画面で「削除」ボタンをクリックします。削除を取りやめたい場合はもう一度ボタン(取り消しボタン)をクリックします。

画面に表示されているユーザーを全て削除する場合は、「全て削除」ボタンをクリックします。取りやめたい場合は削除と同様にもう一度ボタン(取り消しボタン)をクリックします。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 7. アカウント

### 2. ユーザー追加

新規にユーザーを追加します。ユーザー追加画面には、テンプレート設定で指定した値が初期値として表示されます。あらかじめテンプレート設定を行うことによりユーザー追加がスムーズに行えます。テンプレート設定を行っていない場合は先にテンプレート設定を行うことをお勧めします。

#### ■ ユーザーの追加

追加するユーザー情報の設定を行います。

The screenshot shows a web form for adding a user. The form is titled "ユーザー追加" (Add User) and includes a subtitle "あと945人のユーザーを追加することができます。" (You can add up to 945 more users). The form fields and options are as follows:

- ユーザー名(ログイン名): Text input field.
- パスワード: Text input field.
- パスワード(再入力): Text input field.
- グループ: Dropdown menu with "ログイン名と同じにする" selected.
- 追加情報(本名など): Text input field.
- シェル: Radio buttons for "/bin/bash", "利用不可", and "その他".
- メール: Radio buttons for "POP及びAPOPで認証", "POPのみで認証", "APOPのみで認証", and "利用不可".
- FTP: Radio buttons for "利用可" and "利用不可".
- アカウント有効期限: Radio button for "無制限" and a date picker for "年 月 日".
- ホーム領域制限: Text "容量制限は利用できません。"
- メールスプール領域制限: Text input field with "MB/bytes" label.
- Bottom button: "設定する" (Set).

「ユーザー名(ログイン名)」、「パスワード」を入力します。

必要に応じて「追加情報(本名など)」を入力します。

シェルの利用を許可する場合は、シェルのメニューから利用するシェルを選択するか、「その他」を選択してシェルをフルパスで入力します。

シェルの利用を許可しない場合は、シェルで「利用不可」を選択します。

メールの認証を APOP だけに限定してメールの利用を許可する場合はメールで「APOP のみで認証」を、POP でも APOP でもメールの利用を許可する場合は「POP 及び APOP で認証」を選択します。

メールの利用を許可しない場合は、メールで「利用不可」を選択します。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。

FTP の利用を許可する場合は FTP で「利用可」を、許可しない場合は「利用不可」を選択します。



サーバー管理者よりシェルの制限が行われている場合、シェルは利用できません。

なお、ドメインで提供するサービスとして FTP サーバーが選択されていない場合は選択できません(FTP は利用できません)。

アカウント有効期限を設定する場合は有効期限を年月日で指定し、設定しない場合は「無期限」を選択します。

ホーム領域制限を設定する場合は、「警告容量」と「最大容量」に制限値を入力します。なお、ディスク使用容量制限が有効でない場合は設定できません。

ホーム領域制限を設定しない場合は、「警告容量」と「最大容量」の制限値を空にします。



ドメインにディスク容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

メールスプール領域制限を設定する場合は、制限値を入力します。

メールスプール領域制限を設定しない場合は、制限値を空にします。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。



ドメインにディスク容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 7. アカウント

### 3. CSV一括ユーザー登録

このバーチャルドメインにユーザーを一括して登録します。

#### ■ ユーザーの一括追加

ユーザーを一括して登録します。

The screenshot shows a web interface for adding users. It is divided into two main sections. The top section is titled 'ファイルをアップロードしてユーザーを追加する' (Add users by uploading a file). It contains a sub-section '一括追加するユーザーの情報をテキストファイルに保存し、そのファイルをアップロードすることでユーザーを追加します。' (Save user information in a text file and upload it to add users). Below this, there is a warning icon and text: '▲ファイルやテキストの書き方が間違っていると、既に存在するユーザーも追加、削除された場合には、エラーの表示や警告メッセージが表示されます。この場合、ユーザー追加は行われません。エラーメッセージは、ほとんどの場合、添付ファイルで表示されます。' (If the file or text format is incorrect, existing users may be added or deleted, and error messages or warnings will be displayed. In this case, user addition will not occur. Error messages are displayed in most cases in the attached file). There is a '参照' (Reference) button and a file upload area. The bottom section is titled '手動でまとめてユーザーを追加する' (Add users manually). It contains a sub-section '一括追加するユーザーを手入力、あるいはコピー＆ペーストで追加します。' (Add users manually, or copy and paste). Below this, there is a warning icon and text: '▲ファイルやテキストの書き方が間違っていると、既に存在するユーザーも追加、削除された場合には、エラーの表示や警告メッセージが表示されます。この場合、ユーザー追加は行われません。エラーメッセージは、ほとんどの場合、添付ファイルで表示されます。' (If the file or text format is incorrect, existing users may be added or deleted, and error messages or warnings will be displayed. In this case, user addition will not occur. Error messages are displayed in most cases in the attached file). There is a '参照' (Reference) button and a text input area.

ユーザーリストのファイルをアップロードする場合は、「ファイルをアップロードしてユーザーを追加する」に、ファイルのパスを入力するか、「参照」ボタンをクリックし、ファイルの指定ウインドウからファイルの場所を指定します。

手入力の場合は「手動でまとめてユーザーを追加する」にユーザー情報を入力します。



## ● 一括管理の入力形式

1. ユーザー名 (必須)
2. 平文パスワード、省略時はランダムで決定されます。(追加後に表示されます。)
3. 本名などの付加情報
4. アカウントが所属するグループ名 (無視されます。)
5. ログインシェル
6. 転送メールアドレス
7. メールパスワード
8. メール設定 (-1:不可/0:POP と APOP/1:APOP/2:POP)
9. ユーザーの有効期限 (YYYY/MM/DD)
10. FTP ログインの可否 (0 : 可 / 1 : 不可)
11. メールプール制限容量 (Bytes)
12. ディスク制限容量 (kB)
13. iノード制限数
14. ディスク超過許容量 (kB)
15. iノード超過許容数



ひらがなや漢字など、文字コードはシステムにあわせる必要があります。

「追加」ボタンをクリックして登録します。



半角カナ / 全角文字がファイル名、またはパスに含まれる場合、アップロードが正常に実行できないことがあります。

## 7. アカウント

### 4. CSV一括ユーザー削除

このバーチャルドメインに登録されているユーザーを一括して削除します。

#### ■ ユーザーの一括削除

ユーザーを一括して削除します。

ユーザーリストのファイルをアップロードする場合は、「ファイルをアップロードしてユーザーを削除する」、にファイルのパスを入力するか「参照」ボタンをクリックしファイルの指定ウィンドウからファイルの場所を指定します。

手入力の場合は「手動でまとめてユーザーを削除する」にユーザー情報を入力します。



入力形式は、「CSV一括ユーザー登録」の『一括管理の入力形式』をご参照ください。

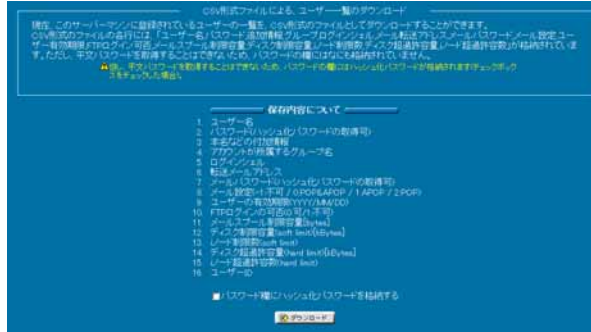
「削除」ボタンをクリックして削除を実行します。



半角カナ／全角文字がファイル名、または、パスに含まれる場合アップロードが正常に実行できないことがあります。

## 5. CSV一括ユーザー保存

このバーチャルドメインに登録されているユーザーの情報を CSV 形式のファイルで保存します。



このファイルには、パスワード以外のユーザー情報が記録されています。「ダウンロード」ボタンをクリックし、保存場所を指定してダウンロードします。

### ■ ユーザーリストの保存

サーバーに登録されているユーザーリストを CSV 形式のファイルで保存します。  
ユーザーリストファイルには、パスワード以外のユーザー情報が記録されています。  
「ダウンロード」ボタンをクリックし、保存場所を指定して、ダウンロードします。



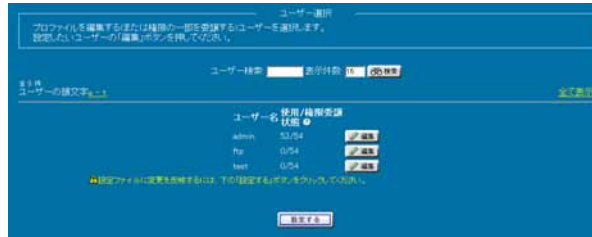
ファイルの形式は、「CSV一括ユーザー登録」の『一括管理の入力形式』をご参照ください。

## 7. アカウント

### 6. アクセス権限設定

ユーザーごとに利用を許可する(権限を委譲する)HDE Controller のメニュー設定(アクセス権限設定)を行います。

#### ■ ユーザーの検索



ユーザーアクセス権限を管理するユーザーを検索します。

「ユーザー検索」に検索したいユーザー名の一部または全てを検索キーワードに入力します。

検索結果の表示件数を設定する場合は、「表示件数」に一度に表示する件数を入力します。

「検索」ボタンをクリックして検索を実行します。

ユーザー名の頭文字から検索する場合は、「ユーザーの頭文字」からアルファベットの範囲をクリックします。

全て表示する場合は、「全て表示」をクリックします。

## ■ アクセス権限設定



アクセス権限の変更を行う場合は、「編集」ボタンをクリックします。

ユーザーの運用メニュー設定画面が表示されます。

「使用/権限委譲状態」には、各メニューに属する権限の総数と、現在委譲されている権限の数が表示されます。

メニューに属する全ての権限を委譲する場合は「全て」ボタンをクリックします。

(特定のユーザーに権限を委譲すると危険なものについては選択できません。)

委譲されている権限を全て取り消す場合は、「削除」ボタンをクリックします。

メニューに属する権限を個別に設定する場合は、「カスタム」ボタンをクリックします。「カスタム」をクリックすると運用メニューに属する権限の以上画面が表示されます。

委譲する権限を選択、または、取り消す権限の選択を解除し、「OK」ボタンをクリックします。

運用メニュー設定画面に戻り、更に「戻る」ボタンをクリックしてユーザー選択画面に戻ります。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 7. アカウント

### 7. アクセス権限一括設定

バーチャルドメイン管理者 (admin@ドメイン名) を除くユーザーに利用を許可する (権限を委譲する) HDE Contorller のメニュー設定 (アクセス権限設定) を一括編集します。



各運用メニューで全ての設定メニューを使用する場合は「全て」ボタン、使用する設定メニューを自分で選択する場合は「カスタム」ボタン、設定メニューを使用しない場合は「削除」ボタンを押して下さい。

「設定する」ボタンをクリックして設定を終了します。

## 8. テンプレート設定

ユーザー追加画面の初期値として表示する値の設定を行います。同じような設定を持つユーザーを効率的に追加できます。

ユーザーテンプレート設定  
ユーザーの追加時のデフォルトテンプレートを設定します。

シェル  /bin/bash  
 利用不可  
 その他

メール  POP及びAPOPで認証  
 POPのみで認証  
 APOPのみで認証  
 利用不可

FTP  利用可  
 利用不可

アカウント有効期限  無制限  
 ---年--月--日

ホーム領域制限 容量制限は利用できません。  
メールスプール領域制限  MBytes

シェルの利用を許可する場合は、シェルのメニューから利用するシェルを選択するか、「その他」を選択してシェルをフルパスで入力します。

シェルの利用を許可しない場合は、シェルで「利用不可」を選択します。

メールの認証を APOP だけに限定してメールの利用を許可する場合はメールで「APOP のみで認証」を、POP だけに限定してメールの利用を許可する場合はメールで「POP のみで認証」を、POP でも APOP でもメールを利用可能にする場合は「POP 及び APOP で認証」を選択します。

メールの利用を許可しない場合は、メールで「利用不可」を選択します。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。

FTP の利用を許可する場合は FTP で「利用可」を、許可しない場合は「利用不可」を選択します。

なお、ドメインで提供するサービスとして FTP サーバーが選択されていない場合は選択できません(FTP は利用できません)。

アカウント有効期限を設定する場合は有効期限を年月日で指定し、設定しない場合は「無期限」を選択します。

ホーム領域制限を設定する場合は、「警告容量」と「最大容量」に制限値を入力します。なお、ディスク使用容量制限が有効でない場合は設定できません。

ホーム領域制限を設定しない場合は、「警告容量」と「最大容量」の制限値を空にします。



ドメインに最大ディスク容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

## 7. アカウント

メールスプール領域制限を設定する場合は、制限値を入力します。

メールスプール領域制限を設定しない場合は、制限値を空にします。

なお、ドメインで提供するサービスとしてメールサーバーが選択されていない場合は設定できません。



ドメインにメールスプール容量の制限が設定されている場合は、この制限を越えることはできません。

「設定する」ボタンをクリックし、設定を終了します。